



つたえるかって、なんだろう？ ～ネットでのやりとりを考える～

➤ こんなとき、あなたならどうする？

SNSで友だちが誤った情報を投稿していました。
あなたはコメント欄に何か書いて友だちに伝えますか？
それとも何も言わないでおきますか？

例1 「それ、まちがってるよ」

例2 「ちょっと気になったんだけど、これって本当？」



同じことを伝えようとしても、つかう言葉によって相手の受け取り方は大きく変わります。
もし、自分が例1や例2のような言葉を言われたらどんな気持ちになるか、想像してみましょう。

➤ 伝えるときに大切な3つのポイント

インターネットの中では文字だけで気持ちを伝えなくてはいけないときがあります。
あなたが思っていることを正しく伝えるために、3つのポイントに気を付けてみてください。

① 言葉の選び方

相手にちゃんと伝わる言葉か、きつい言い方になっていないかを投稿する前に
見直してみましょう。

例えば「それ、まちがってるよ」は「〇〇という考え方もあるよ」と
言い換えることもできます。

② 相手の立場に立つこと

相手に言葉を伝える前に言葉を受け取る相手の気持ちを想像してみましょう。
また、自分が言われたらどう感じるかを考えてみるのも効果的です。

③ 伝える目的を考える

何を伝えようとしているのかをよく考えてから伝えましょう。
よりよくするための言葉が責める言葉になってしまっていないですか？

インターネットでも現実でも、言葉は人と人をつなぐ大切な手段です。
何をどう伝えるかで、相手を励ますこともできれば、傷つけてしまうこともあります。
だからこそ、自分の言葉に責任をもって大切に使いましょう。